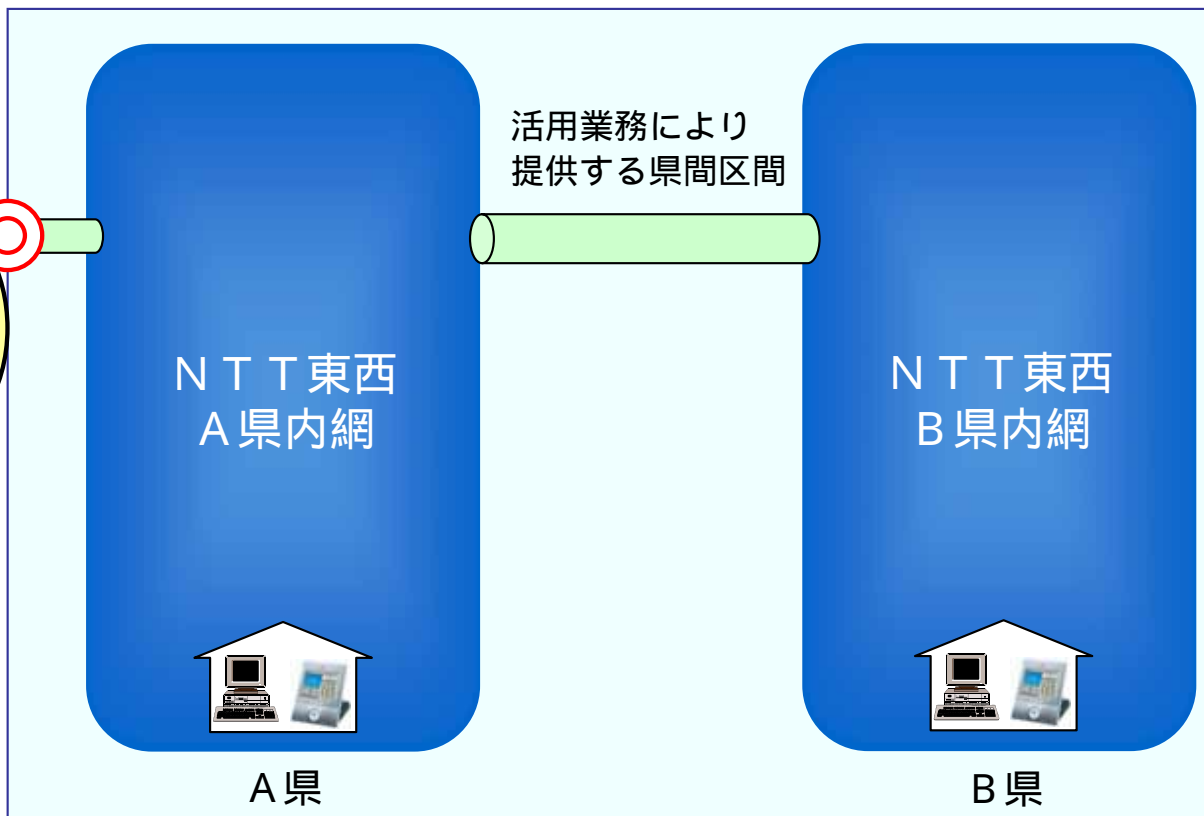
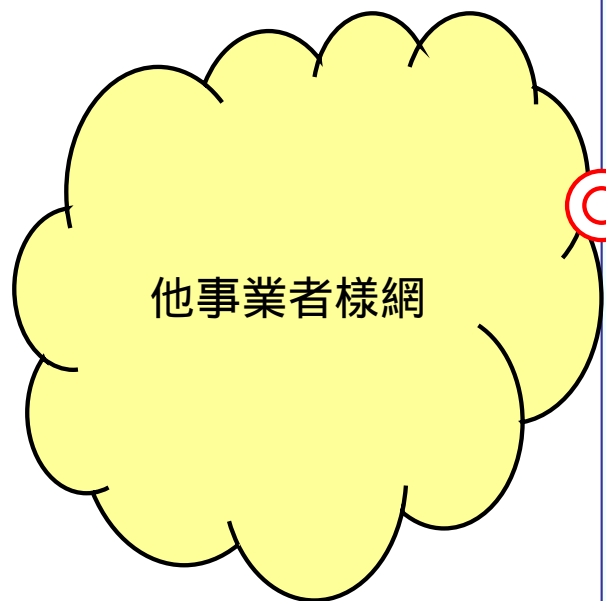


NGNを用いた商用サービス（フレッツサービス、ひかり電話、イーサネットサービス）を提供するために必要となる県間伝送役務の提供及び料金設定の実施について、活用業務の認可申請を行いました。

活用業務により提供する県間区間・料金設定する区間

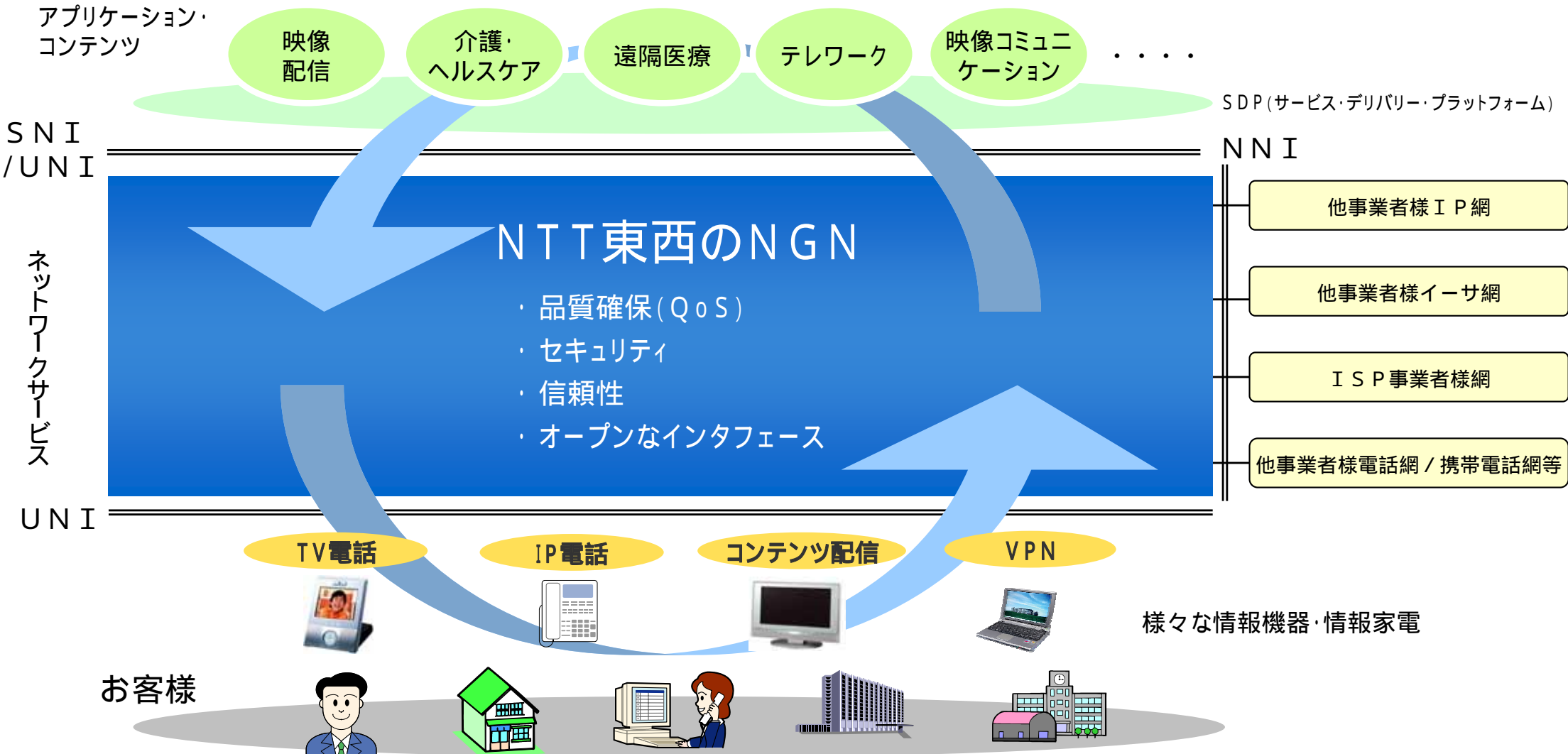
活用業務により料金設定する区間



NGNの基本コンセプト

高速・広帯域のブロードバンド/IPベースの技術を採用しつつ、大規模ネットワークを前提としたネットワークアーキテクチャで高い信頼性・安全性を実現するとともに、ネットワーク制御機能によりエンド・トゥ・エンドでの品質確保を可能とします。

「オープン」&「コラボレーション」をキーワードに、他事業者の方々とネットワークを相互接続するとともに、異業種・他業界の皆様と協業して、新しいサービスや価値を創造します。



NGNを利用した商用サービスの概要

NTT東西は、NGNを利用して、平成20年3月を目途に首都圏と大阪府の一部から、既存のサービスを継続して提供するとともに、より広帯域で品質確保型の新サービスをあわせて提供していく予定です。

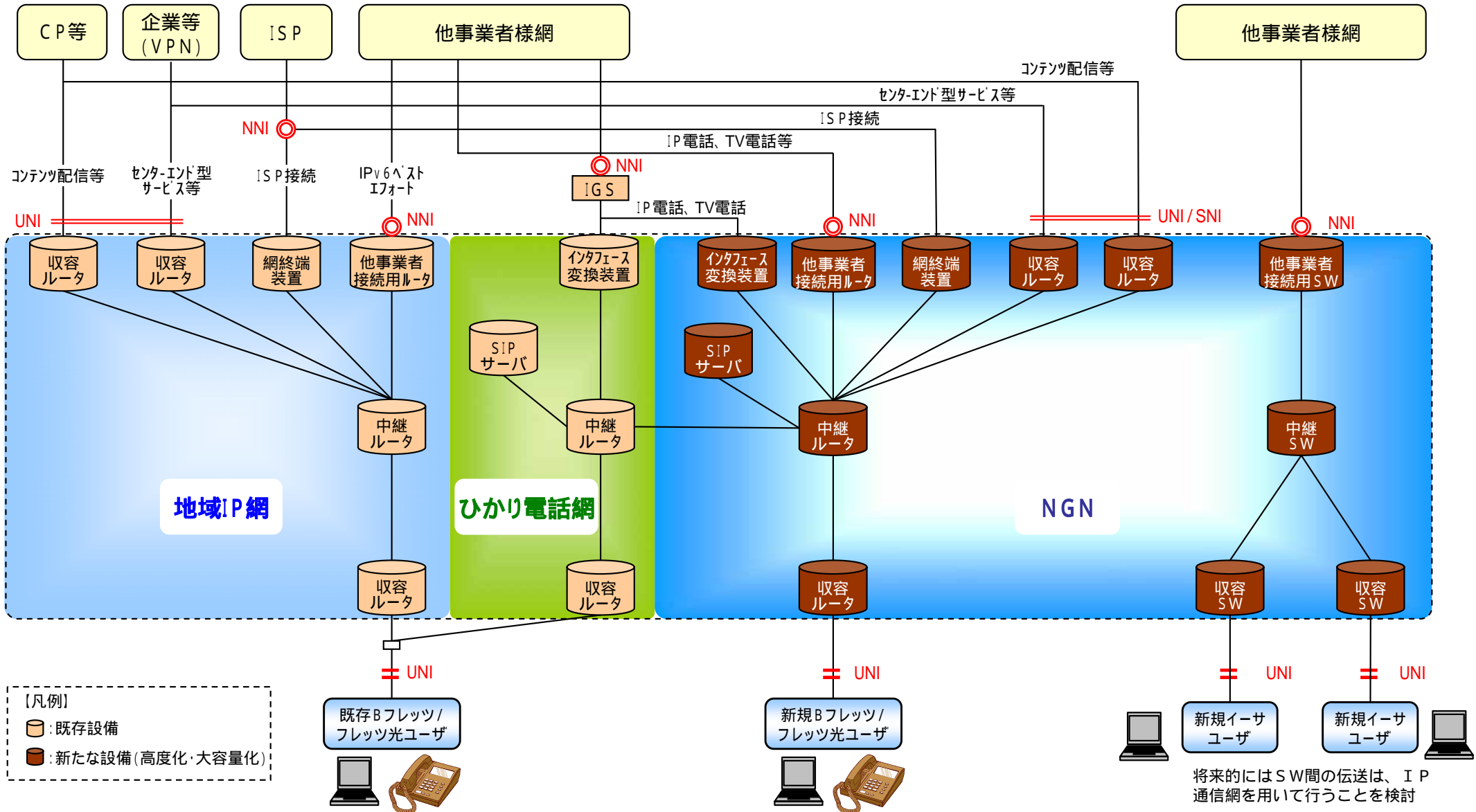
サービス	内 容	下線部は新サービス
フレッツサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・光ブロードバンドサービス（Bフレッツ/フレッツ・光プレミアム相当） <ul style="list-style-type: none"> -インターネット接続も可能とするベストエフォート型の超高速通信サービス -IPv6通信機能を標準装備 -提供メニュー¹（例）戸建向け : 最大通信速度100Mbps 集合住宅向け : 最大通信速度100Mbps 事業所向け : 最大通信速度概ね1Gbps ・センタ-エンド型サービス（フレッツ・オフィス²） <ul style="list-style-type: none"> -フレッツ網を利用してプライベートネットワーク等を構築できるサービス ・CUG型サービス（フレッツ・グループアクセス²/フレッツ・グループ²） <ul style="list-style-type: none"> -簡易なプライベートグループ内での通信を可能とするサービス ・コンテンツ配信向けサービス <ul style="list-style-type: none"> フレッツ・ドットネットEX/フレッツ・v6キャスト -ユニキャスト通信（片方向・一対一のIPv6通信サービス）、マルチキャスト通信（片方向・一対多のIPv6通信サービス） -オプションにより、<u>帯域確保通信が可能（ユニキャスト通信）</u> <u>地上デジタル放送IP再送信向けマルチキャスト通信</u> -<u>地上デジタル放送IP再送信向けの帯域確保型のマルチキャスト通信</u> 	
ひかり電話	<ul style="list-style-type: none"> ・OAB~J IP電話サービス（ひかり電話） <ul style="list-style-type: none"> -Bフレッツ/フレッツ・光プレミアム相当を利用した光IP電話サービス -帯域確保により提供する通話 （例）標準品質（3.4kHz）通話、<u>高音質（7kHz）通話</u> 標準帯域のテレビ電話、標準テレビクラスのテレビ電話、<u>ハイビジョンクラスのテレビ電話</u> 	
イーサネットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・最大通信速度1Gbpsのイーサネットサービス 	

1:最大通信速度100Mbps・最大通信速度1Gbpsとは技術規格上の最大値であり、ベストエフォートのサービスについては、お客様宅内での実使用速度は、お客様の利用環境や回線の混雑状況等によって変動します。

2:現在提供しているサービスの例

NGNのネットワーク概要

NTT東西のNGNは、お客様に既存のIP・ブロードバンドサービスをより安心して便利にご利用いただくとともに、より広帯域で品質確保型の新サービスも追加的にご利用いただけるようにするために、既存のIP通信網（地域IP網・ひかり電話網）を高度化・大容量化していくものであり、既存のPSTN網とは別に構築します。



既存の I P 通信網から N G N への移行

既存の I P 通信網から N G N への移行にあたっては、お客様サービスの中断を避けるとともに、新規需要増にも対応していく必要があることから、一時的にはオーバーレイ的に運用・展開していきませんが、まずはひかり電話の中継面から N G N 用の装置に置き換えていき、最終的には収容ルータ（エッジ）を含め既存の I P 通信網を N G N に置き換えていきます。

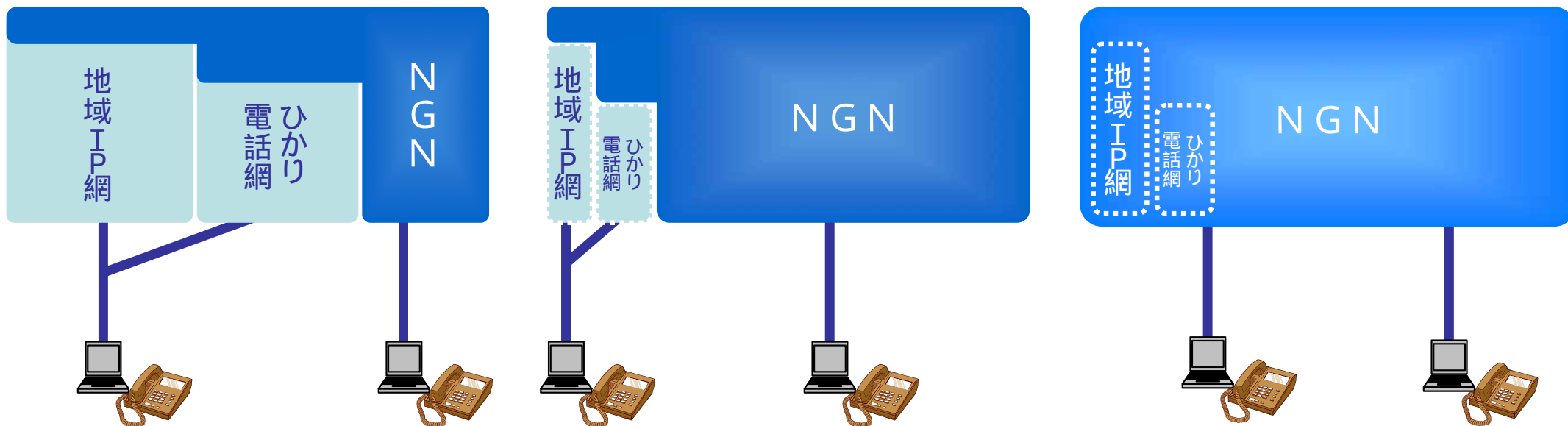
< N G N 導入開始当初 >

新規需要及び既存のひかり電話の中継面から順次 N G N の設備に置き換えていきます

順次高度化・大容量化された N G N の設備に置き換えていきます

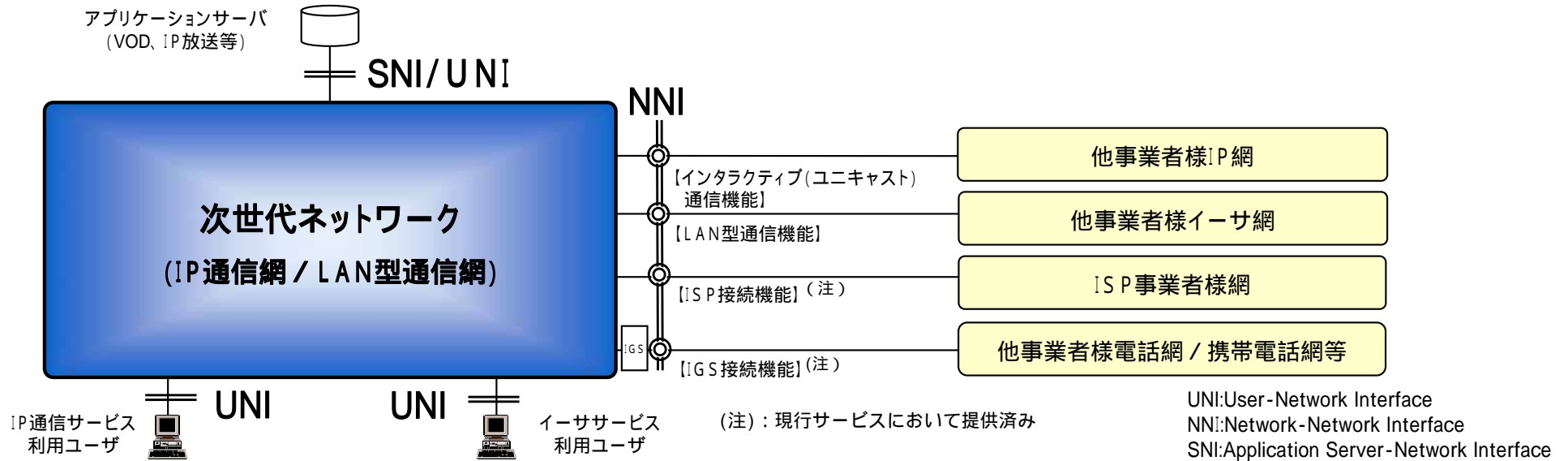
< N G N 導入完了時 >

既存の I P 通信網（地域 I P 網・ひかり電話網）を全て N G N に置き換えます



ネットワークのオープン化 (1)

商用サービスの開始にあたり、トライアル開始時と同様にインタフェース条件等の接続条件を公表し、他事業者の方々のネットワークと相互接続するとともに、異業種・他業界の皆様と協業して新しいサービスや価値を創造してまいります。



(1) インタフェース条件の概要

NNI

インタフェース	機能名	概要
NNI	インタラクティブ (ユニキャスト) 通信機能	IP通信網を利用するユーザと他事業者様網のユーザ間におけるSIPによるセッション制御機能を用いた通信を行うための機能。
	LAN型通信機能 (イーサ通信機能)	LAN型通信網を利用するユーザと他事業者様イーサ網のユーザ間におけるイーサネット通信を提供するための機能。
	ISP接続機能 (現行の機能と同じ)	IP通信網を利用するユーザが接続の都度、ISP事業者様網を選択し接続するための機能。
	IGS接続機能 (現行の機能と同じ)	IP通信網を利用するユーザが、IGS (電話網の関門交換機) を介して他事業者様電話網等と通信を行うための機能。

ネットワークのオープン化（２）

UNI

インタフェース	機能名	概要
UNI	インタラクティブ (ユニキャスト)通信機能	IP通信網を利用するユーザがSIPによるセッション制御機能を用いた通信、またはセッション制御機能を用いない通信を行うための機能。
	マルチキャスト通信機能	端末機器等からの要求に基づき、アプリケーションサーバ機器類からIP通信網を介してIPマルチキャストによる映像受信等を行うための機能。
	LAN型通信機能 (イーサ通信機能)	LAN型通信網を利用するユーザにイーサネット通信を提供するための機能。
	ISP接続機能 (現行の機能と同じ)	IP通信網を利用するユーザが接続の都度、ISP事業者様網等を選択し接続するための機能。

SNI

インタフェース	機能名	概要
SNI	インタラクティブ (ユニキャスト)通信機能	端末機器等からの要求に基づき、アプリケーションサーバ機器類からIP通信網を介してSIPによるセッション制御機能を用いた通信、またはセッション制御機能を用いない通信を行うための機能。
	マルチキャスト通信機能	端末機器等からの要求に基づき、アプリケーションサーバ機器類からIP通信網を介してIPマルチキャストによる映像配信等を行うための機能。

ネットワークのオープン化（3）

（2）NNIの相互接続条件（POI及び接続料）

既存と同じ接続形態のもの

機能名	相互接続点（POI）の設置場所	接続料
ISP接続機能	現行のフレッツで接続しているPOIビルと同じビル。	現行のISP接続の接続料と同じ。
IGS接続機能	現行のひかり電話で接続しているIGSビルと同じビル。	現行のIGS接続の接続料と同じ。

（注）現行と同様、POIまでの通信回線等、当社ネットワークの接続点まで必要となる設備については事業者様にご用意いただきます。

新たな接続形態として追加するもの

機能名	相互接続点（POI）の設置場所	接続料
インタラクティブ （ユニキャスト）通信機能	<p>【NTT東日本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白鬚ビル ・前橋下沖ビル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビル&キープとし、弊社IP通信網利用に係る接続料は設定いたしません。なお、接続開始後、上り/下りでトラヒックに偏りがあるかどうか等の接続実績を把握した上で、必要があれば見直しを行うことを考えています。 ・事業者様固有に必要となる装置に係る費用等については、個別負担していただきます。
LAN型通信機能 （イーサ通信機能）	<p>【NTT西日本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪ビル ・東海栄本ビル <p>上記以外のビルでの接続は、事業者様と協議し、トラヒック属性・トラヒック量・回線容量等を勘案して決定します。</p>	

（注）POIまでの通信回線等、当社ネットワークの接続点まで必要となる設備については事業者様にご用意いただきます。